

令和4年度

事業実績報告書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月 31日

社会福祉法人 中城村社会福祉協議会

I. 会務の運営並びに連絡協調

[1] 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催

円滑なる会務運営及び事業執行をはかるため、次のとおり理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会を開催した。

(1) 理事会

<第1回>期 日：令和4年6月14日（火）10:00～ 中城村吉の浦会館（中会議室）

出席者数：理事8名、監事2名

議案：（議案第1号）令和3年度事業実績報告について
（議案第2号）令和3年度決算報告について
（議案第3号）社会福祉充実計画について
（議案第4号）評議員辞任に伴う補充候補者の推薦について
（議案第5号）役員（理事）辞任に伴う補充候補者の推薦について
（議案第6号）令和4年度定時評議員会の開催について

<第2回>期 日：令和4年10月7日（金）10:00～ 中城村吉の浦会館（小会議室）

出席者数：理事10名、監事2名

議案：（議案第1号）指定就労継続支援B型事業所きらりの移転について
（議案第2号）令和4年度第一次補正予算について
（議案第3号）令和4年度第2回評議員会の開催について

<第3回>期 日：令和5年3月22日（水）10:00～ 中城村吉の浦会館（ホール）

出席者数：理事10名、監事2名

議案：（報告第1号）会長の職務執行状況報告について
（議案第1号）令和4年度第二次補正予算について
（議案第2号）指定就労継続支援B型事業所の内装工事に係る資金借入れについて
（議案第3号）指定就労継続支援B型事業所の内装工事に係る工事請負契約について
（議案第4号）有形固定資産の除却及び無償譲渡について
（議案第5号）令和5年度事業計画（案）について
（議案第6号）令和5年度一般会計資金収支予算（案）について
（議案第7号）令和4年度第3回評議員会の招集について

(2) 評議員会

<第1回>期 日：令和4年6月29日（水）10:00～ 中城村吉の浦会館（ホール）

出席者数：評議員19名、監事2名

議案：（議案第1号）令和3年度事業実績報告について
（議案第2号）令和3年度決算報告及び監査報告について
（議案第3号）社会福祉充実計画について
（議案第4号）理事の選任について

<第2回>期 日：令和4年10月18日（火）10:00～ 中城村吉の浦会館（ホール）

出席者数：評議員19名、監事1名

議案：（議案第1号）令和4年度第一次補正予算について

<第3回>期 日：令和5年3月30日（木）10:00～ 中城村吉の浦会館（ホール）

出席者数：評議員19名、監事2名

議案：（議案第1号）令和4年度第二次補正予算について
（議案第2号）令和5年度事業計画（案）について
（議案第3号）令和5年度一般会計資金収支予算（案）について

(3) 評議員選任・解任委員会

<第1回>期 日：令和4年6月16日（木）10:00～ 中城村吉の浦会館（中会議室）

出席者数：評議員選任・解任委員5名

議案：（議案第1号）評議員の辞任に伴う補充選任について

II. 福祉対策活動

(1) 低所得者援護活動

村内の低所得者の自立更生を図るため次のとおり事業を実施した。

(1) 生活福祉資金の貸付

資金別		相談	決定	既存	金額(円)
1	総合支援資金	22	2	0	908,000
2	緊急小口資金	15	1	0	100,000
3	福祉費	9	0	0	0
4	生活復興支援資金	0	0	0	0
5	教育支援資金	14	3	0	1,415,000
6	不動産担保型生活福祉資金	5	0	1	936,000
7	臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0
合 計		65	6	1	3,359,000

(2) 生活福祉資金(特例貸付)

新型コロナウイルスの影響で休業、失業した生活困窮世帯への貸付

※受付期間(令和2年3月25日～令和4年9月30日)の実績

資金別		件数	金額(円)
1	緊急小口資金	542	104,800,000
2	総合支援資金	471	252,720,000
3	総合支援資金(延長)	183	99,450,000
4	総合支援資金(再貸付)	203	109,500,000
合 計		1,399	566,470,000

(3) 歳末たすけあい運動の実施

運 動 期 間 令和4年12月1日～31日

募 金 目 標 額 2,200,000円

募 金 総 額 1,797,625円(達成率 81.7%)

義援金配分式 令和4年12月28日(水)

使途配分内訳

(在宅要援護者義援金贈呈事業費)

区 分		件数	金額(円)	備考
1	障がい者世帯(知的・身体・精神・長期療養)	27	270,000	
2	ねたきり老人世帯	0	0	
3	一人暮らし老人世帯	20	200,000	
4	その他生活困窮者世帯(母子・父子世帯含む)	86	860,000	
扶養加算(208人)			208000	
小 計		133	1,538,000	

(地域福祉活動費)

事 業 名		金額(円)	備考
1	低所得世帯紙おむつ等支給事業	50,420	おむつ購入費(現物支給)
2	福祉まつり経費	0	コロナの影響で中止
3	備品購入(地域福祉事業)	59,800	プロジェクター
小 計		110,220	

次年度への繰越金	149,405	
合 計	1,797,625	

(4) 低所得世帯紙おむつ給付事業

在宅で低所得世帯の要援護者に対し、本人の健康管理と介護者の負担軽減を図ることを目的に現物(紙おむつ等)給付を行った。

給付方法 : 民生委員児童委員の協力を得て、毎月1回対象者へ現物を配布

対 象 者 : 28名(延人数)

[2] 老人福祉対策

老人福祉対策として次の事業を実施した。

(1) 給食サービスの実施（毎週水曜日の夕食）

期 間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

対象者：2,013名（延人数）

月別 件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	165	120	199	166	171	164	169	206	125	165	161	202

(2) 老人クラブ連合会の事務に関する業務

老人クラブ担当職員を一人配置し団体事務に関する業務を実施した。

(3) 老人クラブ連合会事業、行政福祉関係事業に対する支援、協力

[3] 児童福祉対策

児童福祉対策として、次の事業を実施した。

(1) 児童福祉週間事業「こいのぼり掲揚式」

児童の健全な成長を願い、村内の保育園児、行政、社会福祉協議会、民児協、その他関係者が集い、こいのぼり掲揚をとおして、児童福祉に対する理解を広げることを目的に実施した。

日 付：令和4年4月21日（木）

場 所：ごさまる陸上競技場（掲揚台前）

(2) 児童図書配布

期 日：①中城中学校 令和4年12月23日（金）

②中城南小学校 令和4年12月19日（月）

③中城小学校 令和4年12月20日（火）

④津覇小学校 令和4年12月21日（水）

[4] 障害児・者福祉対策

障害児・者福祉対策として、次の事業を実施した。

(1) 福祉車輛（ファンカーゴ）貸出事業

件 数：7件

(2) 第58回沖縄県身体障害者スポーツ大会への参加協力

<アーチェリー競技>

日 付：令和4年8月7日（日）

場 所：鏡が丘特別支援学校

選 手：1名参加

<水泳競技>

日 付：令和4年8月20日（土）

場 所：奥武山運動公園水泳プール

選 手：1名参加

<フライングディスク競技>

新型コロナウイルス感染防止のため中止

<陸上競技>

日 付：令和4年10月8日（土）

場 所：沖縄県総合運動公園

選 手：7名参加

<卓球競技>

日 付：令和4年12月17日（土）

場 所：豊見城市民体育館

選 手：3名参加

(3) その他、身体障害者福祉協会、心身障害児・者を育てる会事業への支援協力

①中城村身体障害者福祉協会総会

※新型コロナウイルス感染症防止のため、資料配布にて書面決議

②中城村心身障がい児・者を育てる会「根っこの会」総会

※新型コロナウイルス感染症防止のため、資料配布にて書面決議

③6市町村(豊見城市、南城市、南風原町、与那原町、西原町、中城村)身障協交流会

※新型コロナウイルス感染症防止のため中止

④第15回九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会予選会

日付：令和4年6月5日(日)

場所：うるま市具志川ドーム

参加：8名(2チーム)

⑤沖縄県身体障害者福祉協会チャリティーモルック大会

日付：令和4年10月1日(土)

場所：金武町総合保健福祉センター

参加：9名(3チーム)

⑥令和4年度沖縄県身体障害者ボッチャ教室

日付：令和4年11月11日(金)

場所：うるま市石川体育館

参加：6名(2チーム)

⑦沖縄県身体障害者福祉大会

日付：令和4年11月19日(土)

場所：与那原町 上の森かなちホール

参加：9名

[5] 母子・父子福祉対策

母子・父子福祉対策として、次の事業を実施した。

(1) 母子会に対する支援協力

パソコン講座、介護職員初任者研修などの各種講座の案内を通知した。

[6] ボランティア育成活動

諸福祉対策活動や地域における福祉環境づくりに、ボランティアの果たす役割が大きいことに鑑み、次のとおり育成活動を実施した。

(1) 発達障がい児サポーター養成講座

発達障害について理解を深めるとともに、地域や学校で子どもたちを支援するサポーターを養成することを目的に7月と3月の2回実施した。

期日：①令和4年7月4日(月)～25日(月) ※月曜日・木曜日の全6回

②令和5年3月2日(木)～20日(月) //

場所：吉の浦会館(ホール)

内容：発達障がいについての講話、疑似体験、理解を深めるためのワークショップなど

受講者：①申込30名(修了28名) ②申込28名(終了23名)

※後日、修了者を対象とした「ゆんたく会」を開催

(2) 発達障がい児サポーター(トトロの会)活動調整

ボランティアグループ「トトロの会」の活動調整を行った。

調整内容：学校からの依頼ニーズの取りまとめ、ボランティアとの日程調整

定例会への参加：①4月28日(木) ②8月25日(木)

活動期間：令和4年6月～令和5年3月

活動人数：79名(延人数)

活動時間：201時間(延時間)

(3) 中城村社協ボランティア活動推進校の指定

村内の小中学校をボランティア活動推進校として指定し、助成金の交付を行い活動への援助を行った。

活動指定校：中城中学校、中城小学校、津覇小学校、中城南小学校

助成金：各校100,000円

活動内容：施設訪問、福祉体験学習、世代間交流、美化活動など

(4) 中城村社協指定ボランティア活動推進校連絡会

ボランティア活動指定校の担当教諭を対象に、事業の内容や事務手続き、活動調整のあり方などについて説明を実施した。

(5) ボランティア登録、ボランティア活動保険・行幸用保険の加入手続き

[7] 地域福祉活動助成事業

地域福祉の推進を図るため、自治会が自主的に行う地域福祉向上・充実を図ることを目的に行う活動に対し、募金による助成金の配分を行った。

配分件数10件（配分合計額 400,000円） ※申請件数10件

(令和4年度助成実績)

〔 スタッフウェア、掃除機、パークゴルフ道具、交通安全標語横断幕、刈払機、高圧洗浄機
高圧洗浄機、LEDライト、ストロングライト、美化活動経費 〕

[8] 地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業（受託）の実施

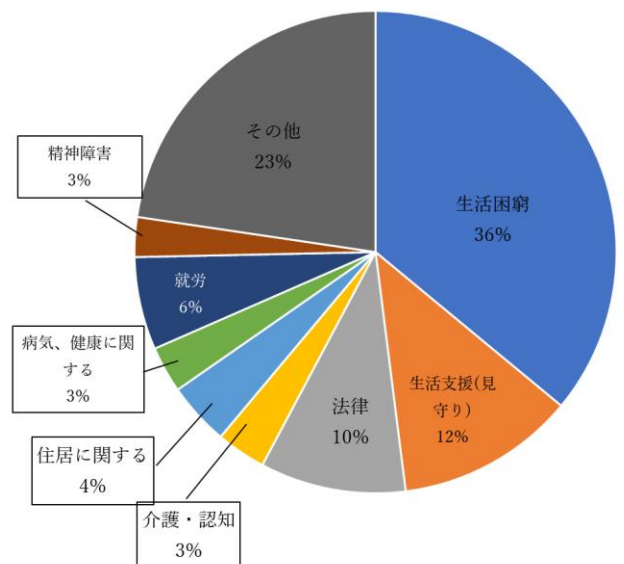
(1) ふれあい総合相談事業

①中城村ふれあい総合相談所の運営

村民の心配ごとや悩みごとの相談に応じ、その問題解決を図るため、一般相談員、専門相談員を配置した。

	相談件数	開設日数
総合相談 (行政相談、消費者生活相談含む)	415件	243日
法律相談(司法書士)	35件	21日
合計	450件	

(内訳) 分野	件数	割合
生活困窮	162	36%
生活支援(見守り)	54	12%
法律	44	10%
介護・認知	15	3%
住居に関する	19	4%
病気、健康に関する	14	3%
就労	28	6%
精神障害	12	3%
その他	102	23%
合計	450	



②ケース会議の実施、参加

多様な支援を必要とするような複雑な相談に対し、関係機関と連携を図り、ケース会議を実施し要援護者への支援体制を構築した。

③広報・啓蒙活動

相談所のチラシを作成し、村内の各世帯、関係機関へ配布した。

(2) フードバンク活動

地域に対してフードバンク活動について周知を行い、家庭などで余っている食料品などを募り、援助を必要としている世帯に食料を支援する活動を行った。

○寄贈食品等 : 169件

お米	172袋(5kg、3kg等)	調味料	161個
麺類	461個	レトルト食品	665個
缶詰	520個	じゃがいも	390kg
その他(パン・卵)	6,899個	キャベツ	84玉

○食料支援先内訳 : 776件

ひとり親世帯	126件	関係機関による支援世帯	44件
高齢者世帯	35件	コロナ療養世帯	30件
障がい者世帯	32件	その他の困窮世帯	44件
低所得世帯	159件	民生委員の訪問による支援	306件

[9] コロナ禍における緊急一時的な食料支援事業

新型コロナウイルスの陽性者または濃厚接触者で、基本的に親族等の援助が得られず、外出自粛により食料や日用品等の購入が困難な世帯に対し、生活の負担軽減を図るため、一時的な食料支援を行った。

<実施期間>

令和4年4月1日～令和5年3月31日

<利用実績>

利用世帯・人数 : 延べ310世帯/1,064人(1世帯平均3.43人)

利用実績額 : 856,537円

食料品の内容 : 目安 : 1~2日分

[10] 中城村要援護高齢者紙おむつ等給付事業(受託)

在宅の要援護高齢者に対し、本人の健康管理と介護者の負担軽減を図ることを目的に、現物(紙おむつ等)給付を行った。

給付方法 : 民生委員児童委員の協力を得て、毎月1回対象者へ現物を配布

対象者 : 延べ326名(実利用者数:44名)

[11] 福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)

認知症や知的障害、精神障害等により判断能力が不十分な方が、地域において安心して暮らせるよう、日常的な金銭管理や福祉サービスの利用援助などを行った。

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
実利用人数	1人	4人	4人	3人	12人
相談支援件数	15件	315件	210件	364件	804件

〔12〕 中城村社会福祉法人連絡会の取り組み

社会福祉法人には、制度や市場原理では満たされないニーズについても率先して対応していく取り組みが求められていることから、中城村内で福祉事業等を実施する社会福祉法人が集い、相互連携による取り組みなどについて情報交換を行うことで、地域福祉の推進に資することを目的に実施した。

<中城村社会福祉法人連絡会の構成法人>

社会福祉法人 いなほ会	社会福祉法人 ハイジ福祉会
社会福祉法人 善隣福祉会	社会福祉法人 南島会
社会福祉法人 陽だまり福祉会	社会福祉法人 マシユ福祉会
社会福祉法人 明秀福祉会	社会福祉法人 へいあん福祉会
社会福祉法人 育和福祉会	社会福祉法人 咲心ラポール福祉会
社会福祉法人 中城村社会福祉協議会（事務局）	

(1) 定期情報交換会

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、実施することが出来なかった。

(2) 中城村社会福祉法人連絡会（Team^ポパイ）地域公益事業の取り組み

社会福祉法人には、制度や市場原理では満たされないニーズについても率先して対応していく取り組みが求められていることを踏まえ、制度の狭間や生活困窮などの新たな福祉課題に対し、法人が柔軟に対応することで地域のセーフティネットの役割を担うとともに地域における支え合い体制の構築に寄与することを目的に事業を実施した。

<実施内容>

① フードバンク活動への取り組み：17件

各法人にて、利用者や職員等へフードバンク活動について周知を行い、集まった食料品等を寄贈する。

〔13〕 第2回中城村福祉まっりの開催

中城村内の福祉団体及び関係機関が連帯・協力を深め、福祉まつりをとおして、住民が福祉について理解と関心を持ち、中城村民総ぐるみで「福祉のまちづくり」を推進し、地域福祉の増進を図ることを目的とする。

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、情報交換を実施することが出来なかった。

〔14〕 生活支援体制整備事業（受託事業）

地域住民が主体となった生活支援・介護予防サービスの充実が図れるよう、地域の互助を高め、地域全体で高齢者等の生活を支える支援体制づくりを進めることを目的に、生活支援コーディネーターを配置し、地域資源やニーズの把握を行い、新たな介護予防サービスの創出を図るなど、地域における支え合い体制の構築に努めた。

(1) コーディネーターの配置

地域ふれあい事業を始めとした地域活動が行われている場への訪問を行い、地域の資源やニーズの把握に努め、それらを多方面で「見える化」し、住民と社会資源をつなぐ等のコーディネートを行った。

(2) ネットワークの構築に関する活動

① 支援を要する住民への適切な支援を行うため普段から関係機関と情報交換を行う

② ボランティアで支援ができる人の情報を把握するため地域住民や福祉団体等との情報交換を普段から積極的に行う（役場各課・教育委員会・議員・自治会長会・学校関係・民生委員児童委員協議会・老人クラブ連合会・シルバー人材センター・中城村社会福祉法人連絡協議会（Team ポパイ）・ボランティアサークル（トトロの会等）・吉の浦総合スポーツクラブなど）

(3) 地域のニーズ、社会資源の把握等に関する活動

- ①社会資源開発として、元気な高齢者が担い手として活動する場の確保
- ②既存の社会資源や地域のニーズを把握し、求められる支援が提供できる体制づくり
- ③地域で自立して自分らしい生活がおくれるよう高齢者の尊厳を保持し、地域との関係をきらないソーシャルサポートの維持や、地域住民や介護サービス事業所、専門職と協働した支援

(4) 協議体の設置及び開催に関する活動

協議体開催地域：6地域 開催回数：延べ13回 参加人数：延べ191人

- ①地縁組織等多様な主体間との情報共有
- ②協議体の機能を有するような既存の会議等を積極的に活用
- ③自然発生した居場所のゆんたくの中で日常的に取り上げられる課題を吸収し、住民同士で解決の模索を行えるよう助言又は、関連機関と連携
- ④住民が自分たちの問題として受け止め、自分たちにできる機会を考えてもらうよう、仲間づくり・組織作りなど活動の運営についてのサポート

(5) 情報の発信

- ①社協ホームページやブログを活用
- ②社協だよりを活用
- ③会議の場や、住民が集う場を活用して情報を提供
- ④「今日はどこ行く」と題した活動記録や地域活動の様子を写真にしてコメントを加え関係者に提供

[15] 中城村ふれあい事業健康相談等業務委託事業（受託）

ふれあい事業は、高齢者（主に80才以上）及び虚弱者の閉じこもり防止や健康の維持増進、地域との交流の場として、地域が主体となり創意工夫のもと取り組み、支援活動をとおしてボランティア精神を養成することを目的に実施される事業であり、令和4年度においては、16地域（伊集、和宇慶、南浜、北浜、津覇、奥間、浜、安里、当間、伊舎堂、泊、久場、登又、新垣、北上原、南上原）で実施されている。

中城村社協では、看護師を配置し実施地域へ派遣、健康チェックや健康講話などを行うとともに、コロナ禍における実施の方法など、運営面での相談に応じた。

<健康相談における看護師の派遣>

月	派遣日数	派遣件数	月	派遣日数	派遣件数
4月	13日	15件	10月	13日	15件
5月	11日	13件	11月	13日	15件
6月	13日	14件	12月	12日	15件
7月	11日	11件	1月	11日	13件
8月	8日	8件	2月	13日	13件
9月	10日	12件	3月	13日	14件
			合計	64日	158件

<健康講話等の実施>

新型コロナウイルス感染予防対策等について、看護師からの健康講話等（56件）

[16] 中城村障がい者地域活動支援センターむつみの受託運営 (R4. 4. 1～R4. 8. 31)

(1) 開所日数：延 128 日

※職員 2 名の退職に伴い、令和 4 年 9 月～令和 5 年 3 月の期間は通所利用を休止

(2) 利用状況 (R5. 3. 31 現在)

①登録者数 13 名 ②年間利用者数 延 565 人 (一日平均 4.4 人)

(3) 生産活動

①アルミ缶回収・販売 売上げ利益 115,735 円

②さをり織り製品などの売り上げ収益 5,355 円

(4) 創作活動

さをり織り、書道、絵画等、利用者の希望に応じた活動を提供した。

(5) 地域活動等事業

B 型事業所きらりと合同で、海岸のビーチクリーン活動を実施。

(6) 地域交流の場づくり活動

①障がい者サロン「楽家」

地域交流の場として、毎月 1 回「サロン楽家」を開催し、利用者及びその家族、村内の福祉団体が集い、カラオケや軽スポーツ等のレクリエーション、ドライブ等を通じて交流を深めた。(新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、緊急事態宣言発令中や蔓延防止措置の期間中は中止。実施する場合も、参加者を限定して行った。)

開催回数 6 回 参加人数 延 55 人 ボランティア・役職員 40 人

②施設交流

指定就労継続支援 B 型事業所きらりと交流事業を開催し、利用者間の交流を深めることを目的とする。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年間を通して中止とした。

(7) 支援センター機能強化への取り組み

地域活動支援センター機能を強化するための取り組みとして、社会福祉士を配置して次の支援を行った。

①相談支援 (電話・SNS・来所・訪問等) 42 件

②同行支援 14 件

③ケース会議等 7 件

④保護者連絡会 ※新型コロナウイルス感染予防のため中止。

[17] 指定就労継続支援B型事業所きらりの経営

(1) 開所日数：延 242 日

(2) 利用状況 (R5. 3. 31 現在)

①登録者数 23 名 ②年間利用者数 延 4,197 人 (前年比+192 人) (一日平均 17.3 人)

(3) 就労活動 平均工賃月額 17,536 円 (前年比+3,718 円)

① 堆肥袋詰め及び販売業務 (有環境整備より業務受託)

売上利益 241,600 円

② 清掃受託業務福祉サービス

業務委託料 515,370 円

業務委託料 600,000 円

業務委託料 720,000 円

小規模多機能いなほ業務 (月・水・金/13:00～15:00)

拓南製作所(株)フォーシング事業所 (水曜日を除く/10:00～14:30)

拓南製作所(株)建設鉄鋼事業所 (月～金/10:00～12:00)

③ 畑作業受託業務

(株)みずほ (火曜日を除く平日/10:00～12:00)

業務委託料 324,325 円

- ④ 糖みつ容器詰め作業 株式会社EM研究機構より業務受託
業務委託料 44,407 円
- ⑤ 洗車作業 ミナミ保育園の園バス（毎月1回）と公用車等の車両洗車
売上利益 68,200 円
- ⑥ 菓子箱折り 「きなこや」より業務受託
業務委託料 48,141 円
- ⑦ 新聞折り作業 沖縄県花卉農業協同組合より業務受託
業務委託料 311,916 円
- ⑧ ハンガー検品業務受託 沖縄綿久寝具㈱より業務受託
売上利益 1,075,940 円
- ⑨ アルミ缶回収販売
売上利益 397,685 円
- ⑩ さをり織り製品販売
売上利益 29,240 円

(4) 余暇支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外出や外食が中心だった月一回のサークル活動を中止。余暇支援の一環として令和2年8月より月一回のテイクアウトランチを実施した。

(5) 相談支援等

利用者への相談支援、家族支援、関係機関との連携

(6) 地域貢献活動

「支援センターむつみ」との合同によるビーチクリーン活動

(7) 家族支援

家族支援の一環として「ファミリーcaféふらっと」を開催

開催回数 6回 参加人数 延べ 20名

[18] 法外援護、緊急生活支援事業

法外援護事業 7件（給付金支給160,000円、洗剤等の支給1,359円）

[19] 各種団体への助成

(1) 関係各種団体の運営並びに活動強化を図るための助成金

団 体 名	助成額（円）
中城村民生委員児童委員協議会	170,000
中城村身体障害者福祉協会	100,000
中城村心身障害児（者）を育てる会	80,000

[20] その他の活動

- (1) 民生委員児童委員協議会主催事業に対する支援・協力
- (2) 福祉機器等の短期無料貸出
①車椅子(36件) ②介護ベッド(34件) ③シャワーチェア(8件) ④ポータブルトイレ(1件)
- (3) 福祉バスの貸し出し（運行回数80回）
①学校・保育所・学童(29件) ②ふれあい事業(20件) ③老人クラブ活動(8件)
④役場・農協(6件) ⑤部活動など(6件) ⑥その他(11件)
- (4) 各種調査、アンケートに対する協力
- (5) 火災予防月間事業に対する協力（独居老人世帯巡回訪問）
（秋の巡回訪問）令和4年11月14日 和宇慶 1件、奥間 2件
（春の巡回訪問）令和5年 3月 1日 安里 7件
令和5年 3月 6日 当間 2件

Ⅲ. 啓発・宣伝活動

〔1〕 広報誌（社協だより）の配布

	第100号	第101号	第102号
発行日	令和4年7月5日	令和4年11月4日	令和5年3月31日
発行部数	8,700部	8,800部	9,000部
内容	○予算・決算等について ○社協の事業について ○各種福祉団体活動について	○募金活動について ○寄付・寄贈者・フードバンク ○その他の地域の話	
配布先	村内各世帯、公共機関（役場、郵便局、護佐丸歴史資料図書館、学校） 社会福祉施設、医療機関、共同募金協力事業所など		

〔2〕 その他の広報媒体の活用

- (1) ホームページ（ブログ）
- (2) 村広報誌（村の話題、ふれあい事業カレンダー）
- (3) マスコミ（地域活動、社協事業）
- (4) チラシ配布（赤い羽根、歳末募金、コロナウイルス情報、食糧支援、その他社協事業）

Ⅳ. 自主財源の強化

社会福祉の啓発と自主財源確保のため、会員拡充や共同募金運動を積極的に取り組んだ。

〔1〕 社協会員制の拡充（令和4年度実績内訳）

種 別	件 数	金額（円）
戸別会費	3,005	1,502,500
賛助会費	193	96,500
団体会費	4	4,000
特別会費	57	555,000
合 計	3,322	2,226,000

〔2〕 赤い羽根共同募金運動

- 期 間 : 令和4年10月1日～12月31日
募金目標額 : 3,454,000円
募金実績額 : 3,674,915円
達成率 : 106.4%
県共募配分 : 1,054,000円
本村配分額 : 2,620,915円

－関係事業－

- ①中城村共同募金委員会の開催
コロナウイルス感染症対策の為、決議の省略による開催とした。
- ②助成審査委員会の開催
期日：令和4年9月8日（木）10:00～ 中城村吉の浦会館（和室）
内容：令和4年度地域福祉活動助成金について